

兵庫県播磨町、野添であい公園管理棟無事竣工

兵庫県播磨町では、弥生時代から古墳時代にかけて大中遺跡があり、この遺跡を中心として「はりま文化ゾーン」構想が策定されています。

弊社では、基本計画から一部実施設計業務にたずさわらせていただいております、この度ゾーンの玄関口として位置づけられている野添であい公園の管理棟が無事竣工しましたので、お知らせします。

公園全体は2期工事中ですが、来年の春に予定されている開園が待ち遠しく思います。

設計データ

【主要用途：管理棟、最高高さ：5 m、建築面積：256.71 m²、延床面積：183.84 m²、木構造（一部RC造）】

【建築主：播磨町、施工：(有)朝日建設、設計監理：総合調査設計（株）】

【設計協力：設計組織アルキメラ（意匠）、田原建築設計事務所（構造）、(有)エム設計事務所（設備）】



木構造を主とした形態は、暖かみを感じられるとともに、シンボリックな空間を形成。

管理棟の機能は、事務所、トイレ、休憩施設であるが、屋外の休憩空間や防災拠点として機能するシェルターが目を引く。

シェルター（写真は工事中）

RC 造の基壇と、木の4本柱のコントラストが、木構造を際立たせて見せる。

木構造の施工には、社寺建築などにもたずさわっている匠と呼ぶべき職人の方が参加。



シェルター部ディテール

写真左下)

シェルターは、カーブを描く大シェルターと、円形の小型シェルターで構成される。

写真右下)

格子状の合成梁は、木造建築の構造美を演出。日の陰影は、その空間を柔らかく包み込んでいる。



コミュニティ促進を図る施設

公園には、コミュニティ形成を促進する要素を様々な形で配置しています。

管理棟もその一つで、地域住民の憩いの場となり、そして、地域コミュニティを形成していく拠点として、開園後利用されていくことが期待されます。

下図) 野添であい公園完成予想図

公園整備のコンセプトとして、多自然型の整備が進められている喜瀬川やその周辺環境に溶け込む空間づくりを目指してします。

園内には、開放的な芝生広場を中心に、管理棟、花壇、広場、駐車場等が設けられます。

本業務は、弊社ホームページ【主要業務実績】にも掲載しています。

